

学会企画シンポジウム1

いま改めて「能力」を考える

- 企画・司会 : 米田英嗣 (青山学院大学)
企画・話題提供 : 野崎優樹 (甲南大学)
「能力」概念の何が批判されているのか
話題提供 : 谷口あや (三重大学)
「発達障害」と能力
話題提供 : 角谷詩織 (上越教育大学)
才能だけではとらえきれないギフティッド
指定討論 : 山形伸二 (名古屋大学)

企画趣旨:

「能力」は、教育心理学において頻繁に研究対象として取り上げられてきた概念である。さらに、学習指導要領の「資質・能力」という言葉にも見られるように、教育現場で育成対象として重視されている概念でもある。しかしその一方で、学術的・社会的な議論の中では、伝統的な「能力」概念に対する批判的な検討も進んでいる。このような背景を踏まえ、本シンポジウムでは、教育心理学の中核的概念である「能力」を多角的な視点から再考する。これらを通して、「欠如」や「卓越」といった一元的な尺度では捉えきれない能力の多面性を浮き彫りにするとともに、教育心理学が今後この概念とどのように向き合い、多様な子どもたちが共に生きる教育現場に向けて、どのような貢献ができるのかを議論したい。